

# 一般質問通告書

受領日時 令和5年6月5日 午前8時30分

3番 氏名 松浦 真

質問項目	質問の要旨
1 商工振興事業全般について	<p>(1) これまで議員が一般質問の中で提案してきたことにより、実際に商工振興課が検討調整し、実現した事例は直近の5年間の中で何件か。また具体的な内容は。</p> <p>(2) 商工振興課における最大の課題は何か。そして、その解決のための事業はどれか。(3つだけ挙げてください)</p> <p>(3) 一般質問で検討すると回答したものは全体の何%か。その中で、実現までにいたらなかった事例の原因を分析するとどのような共通の課題があると考えられるか。</p> <p>(4) 5月4日「祭市」 8月13日「盆市」 12月31日「歳の市」のそれぞれの出店状況は。出店者が集まらないのであれば、見直すことも必要ではないか。</p>
2 あさひ台運動広場のKPIについて	<p>(1) 2022年6月の一般質問にて「今後の利用状況を踏まえ考えて参りたいと思っておりますのでご理解願います」と答弁があった。2022年度の利用状況およびそこから見える成果・課題と今後の展望およびKPIは。</p>
3 不登校児童の学校給食費無償化補助金での在り方は	<p>(1) 給食費無償化について、「児童又は生徒の長期欠席、その他やむを得ない理由により、学校給食の提供が中止されている場合は補助金の交付を受けることができない」とある。奈良市では不登校やアレルギーの関係で喫食出来ない生徒には相当額をギフトカードで配布することとしている。こどもの権利条約と合わせて、先進的自治体事例をもとに町でも検討を進めてもらいたい町の考えは。</p>
4 コロナ禍の振り返りは	<p>(1) 2020年4月～2023年5月まで約3年間のコロナ期間の町当局としての振り返りはどうなっているか。もし、現在まだされていないとすれば、今年の決算特別委員会までに振り返りを行うことが必要ではないか。コロナ禍の経験から五城目町が学べたこと、コロナ禍による地方創生臨時交付金などで得られたメリット、デメリット、防災倉庫などのハードや各公民館へのオンラインMTGの導入などそれぞれ</p>

	<p>の実績はなにか。また、この3年間を経て今後、町が抱える財政や事業、予算についてもイラストを入れる、インフォグラフィックスを導入するなど町民に分かりやすく伝える工夫をしてほしい。町の考えは。</p>
<p>5 予算編成について</p>	<p>(1) 予算編成は各課からの予算要求案が出て、総務課→副町長→町長 という流れで進んでいく。そのため、一般的に全国の自治体では12月もしくは1月以降に行われる首長との予算議論は平均的には1週間程度である。しかし、この予算編成では十分に議論を尽くすことができないと指摘されている。五城目町にとって、予算編成は大事な業務であるが町長が各課との予算編成に充てている時間は昨年実績はどれぐらいか。(過去5年間もどれぐらいか)</p> <p>※参考として、岐阜県飛騨市では、市長主導で予算編成のためのプロセスを夏前にはじめている。7月頃には来年度予算の大きな方向性やポイントを提示し、夏休み期間に各自治体の事例や地域の要望をヒアリングし、秋から各課で議論をはじめ、市長が各課との調整に10月～12月ぐらいまでに82時間かけたとのこと。また、町民の声を予算にどのように反映したのかも分かりやすくまとめている。</p> <p>(2) この予算編成に町民の声を反映するためのプロセスは町民まちづくりアンケート調査以外にあるのか。また、この町民まちづくりアンケートにおける回答年齢構成比割合のバラツキ問題は以前に指摘したが、改善案も含め町の考えは。</p>